

○1 番 平原柑奈君

私は、延永小学校6年の平原柑奈です。私は学校の備品の整備について質問します。

私が在校している延永小学校は、椅子などが壊れているものなどがあったりして、不安に思っています。それらを含め充実した教育を受け、学習をするために、備品の整備も大切なことではないでしょうか。教育長は、どのようにお考えでしょうか。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

教育長。

○教育長 山田英俊君

平原議員の御質問にお答えします。

延永小学校では、壊れた児童用の机や椅子を廃棄処分する前に、2階の図工室の横にある渡り廊下に一時的に保管しております。保管している状況を実際に見ますと、20セット近くの壊れた机と椅子が並んでいて、平原議員が心配されているように、机が不足しているのではないかという考えになるのではないかなと思います。

実際は、新学期が始まる前の3月頃に、各小・中学校に児童・生徒用の机と椅子の不足がないかを調査し、不足している学校があれば余っている学校から持って行ったり、新たに購入したりして、新学期を迎えるにあたって必要な机を準備しているところであります。

ここ3年くらいで、延永小学校に新たに購入した机と椅子の数は、令和3年度は机と椅子を30セット、令和4年度は机25台、椅子49脚、令和5年度は机と椅子を2セット購入しております。

次に、平原議員から要望のあった、図書室に高学年用図書を増やすことについてであります。学校には毎年図書を買うための予算をお渡ししていて、令和6年度には延永小学校が78万8千円、その予算内で司書の先生が、要望が多い本を購入していますので、司書の先生や、担任の先生を通じて、図書司書の先生に読みたい本を購入してもらえないか、相談をしてみてもらえればと思います。

それから、スマホやタブレットの普及などもあって、子どもの図書離れが問題になっております。この図書離れが始まるのは、小学校の高学年からですね。ですので、読みたいと思う本があれば、ぜひ要望していただいて、これからも読書を楽しんでほしいと思います。同じように読書する喜びを友達にも教えてほしいと思っています。

また、議員が不足していると思われた備品や崩れている備品があれば、ぜひとも学校の職員に伝えていただければありがたいと思います。以上であります。

○後半議長 石川蒼真君

平原議員。

○1 番 平原柑奈君

御返答、ありがとうございます。私も本を積極的に読むように頑張ろうと思いました。
次の質問に移ります。

私は、今の行橋市には公園が少ないと感じています。ボール遊びができる公園や遊具がある大きな公園はありますが、数も少なく、距離もあるため自分たちだけでは行きたいときに行くことが難しいです。そのため、電子機器などで遊ぶことが多くなり基礎体力が低下します。子どもが元気のよいまちにするために必要なことだと考えています。そのため、今から幾つか質問をします。

1 つ目は、行橋市には幾つ公園がありますか。

2 つ目は、延永校区にも総合公園のような公園をつくってほしいです。市長は、どのように考えていますか。

3 つ目は、私の考えの他に行橋市で公園をつくるアイデアはありますか。

○後半議長 石川蒼真君

執行部に答弁を求めます。

市長。

○市長 工藤政宏君

お答えさせていただきます。

まずですね公園の数自体は、全部で220ということでございます。そして、これ、特に延永校区でいいますと、市営住宅の塚田団地のそばに草野公園という公園、これは縦が50メートル、横が25メートル、約1,100平米の公園が一番大きな公園になるようでございます。

それから2つ目の延永校区にも総合公園のような公園をつくれないうということですが、各校区にこういう総合公園的なものができればいいなという思いはございますが、現時点で、まだそういうような計画があるかという、すみません、まだないような状況です。

特に公園をつくるとなると、土地の確保だったり、それからまた工事費用がかかります。また維持管理費といったものがかかりますので、そういったところ、市全体を見ながら、延永校区も含めて、市全体を見ながら、そしてまたきょう、ずっといろいろな議員さんから御質問がありましたときに、お答えしておりますけれども、ワークショップといったもの、皆さんから御意見をいただく機会といったものをつくってまいりますので、そういったところの御意見も生かしていきながら公園づくりを考えてまいりたいと思っています。

また、市自体の考えは、というところでございますが、私自身、議員時代から申し上げてきておりました一つに、インクルーシブ遊具のある公園といったものがございます。

これは、簡単に言いますと、重度の肢体、手足に障がいがあるような方でも遊べるような公園、こういったものも必ず必要であると考えております。ブランコも寝た状態で乗られるようなブランコですね、そういったインクルーシブ遊具を導入した、インクルーシブ公園といった視点も必ず必要であるというふうに思っております。

いずれにしても、平原議員からいただいた御意見も参考にしながら、どこにつくるか、あるいはどういった公園をリノベーション、つくり替えるか、そして、どういったものにしたいかというところも市民の皆さん方の御意見も参考にしながら考えてまいりたいと思います。以上でございます。

○後半議長 石川蒼真君

平原議員。

○1 番 平原柑奈君

御返答、ありがとうございました。これで質問を終わります。